

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

アスパラガス擬葉粉末を利用した食品並びに食品添加用粉末の開発・販路開拓

北海道産のアスパラガス擬葉を粉末化し、スイーツ、食品添加用商品、健康食品を開発・販売する。

➤ 連携体

農林漁業者

名尾 良一(農業)

アスパラガス擬葉専用畑を整備し、無農薬で栽培するほか、洗浄・乾燥・保冷の一次加工をして供給する。

中小企業者

(株)北辰フーズ(食料品製造業)、
(株)エス・ネット(専門サービス業)

これまでのノウハウを活用し、スイーツ、食品添加用粉末、健康食品を開発・販売する。

連携参加者

(株)日本健康食品研究所(無店舗小売業)

健康食品の技術開発・販路開拓のサポートをする。

サポート機関等

地域活性化支援事務局、空知信用金庫

➤ 連携の経緯

(株)北辰フーズと(株)エス・ネットは、アスパラガス擬葉の色や機能性に着目し、アスパラガス擬葉粉末を活用した商品の開発・販売を模索していた。

一方、名尾良一は国内有数のアスパラガス産地である名寄市で、アスパラガスを約4ha栽培しているが、収穫時期のピークには労働力確保が困難となりつつあり、人手のかからないアスパラガスの栽培・収穫方法を模索していたことから、3者が連携して新商品の開発・販売を行うこととなった。

➤ 連携に当たっての課題や工夫等

名尾良一は、高品質な原料を安定供給するため、アスパラガス擬葉栽培専用畑を確保するほか、運搬の効率化と劣化を防ぐため、洗浄・乾燥・保冷の一次加工を行う。

ゼリーなどのスイーツについては、(株)北辰フーズの既存販路を活用しながら販路を拡大していくほか、健康食品・食品添加用粉末は、(株)エス・ネットが自社のネットワークを活用し、ドラッグストアなど新たな販路を開拓する。

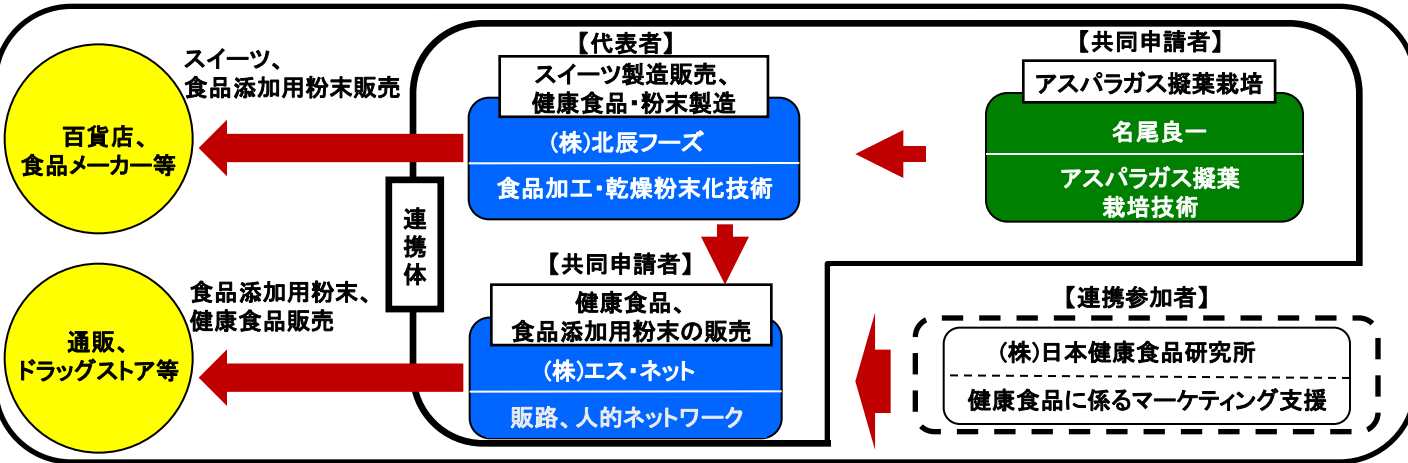
アスパラガス擬葉



アスパラガス擬葉粉末



アスパラガス擬葉粉末を使ったロールケーキ



➤ 連携による効果

農林漁業者

5年で約300万円の売上高増加、耕作面積の拡大

アスパラガス擬葉栽培専用畑を確保し、安定的に供給することにより、売上の増加が期待される。

中小企業者

5年で約7,720万円の売上高増加(北:5,500万円、エ:2,220万円)、販売品目の増加

(株)北辰フーズは、新たな商品の開発により販売品目が増え、売上の増加が期待される。

(株)エス・ネットは、販売品目を増加し、新たな販路を開拓することにより、売上の増加が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : 株式会社北辰フーズ

T E L : 011-383-3231

E - m a i l : info@hokushinfoods.co.jp

所在地 : 北海道江別市緑町西3丁目1番地1

F A X : 011-385-1864

ホームページ : http://www.hokushinfoods.co.jp/